

第10期石西礁湖自然再生協議会 新規参加希望者の紹介

区分	お名前・名称	活動内容や石西礁湖自然再生に対する思いなど
個人	宮本義和（鳥取大学工学部社会システム土木系学科教授）	<p>サンゴ礁生態系に影響を与える赤土、栄養塩の流出低減に関する社会デザインの研究及びサンゴ礁生態系とともに暮らす生活・産業への転換に関する社会デザインの研究をしています。</p> <p>八重山のサンゴ礁生態系を保全・再生するための赤土、栄養塩の流出低減と、かけがえのないサンゴ礁生態系とともに暮らす生活・産業スタイルへの変換を促す社会デザインをしたいと思います。</p>
団体	合同会社サンフィッシュ	<p>石垣島、宮古島でダイビング、シュノーケリング、釣り船を営んでいます。小規模のビーチクリーン活動はこれまでも行っておりましたが、今後は SNS や WEB を使った現状の情報発信なども行っていきたいと考えています。</p> <p>石垣島に来てから16年、多くのエリアで以前よりも珊瑚が減っている感覚があります。初めて石垣島の海に入った時の感動を、今後も多くの方に感じていただきたいと思います。</p>
団体	株式会社イノカ	<p>異分野企業のアセットを組み合わせることでサンゴ保全に向けた実証実験を多方面より取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>石西礁湖での先行事例を作っていくことで、この活動を世界中のサンゴ礁が減少している地域と一緒に広げていくことを目指します。</p> <p>石西礁湖を含む八重山諸島海域は、世界最大のサンゴ礁であるオーストラリアのグレートバリアリーフと肩を並べるほどのサンゴ種を保有しており、高緯度域にこれだけ多くの種が分布するサンゴ礁海域は極めて貴重です。</p> <p>さらに、石西礁湖は琉球列島の最南端に位置し、黒潮暖流が列島に沿って北上していることから、沖縄島などの高緯度域へのサンゴの幼生等の供給源</p>

		<p>となっている可能性があり、日本のサンゴ群集を支える上で重要な役割を果たしていると考えられています。</p>
団体	琉球大学研究推進機構共創拠点運営部門地域共創プロジェクトチーム	<p>琉球大学地域共創プロジェクトチームでは、食資源循環（フード・トランスフォーメーション：FoodX）プロジェクトに取り組んでいる。FoodXにおいて、畜産廃棄物の堆肥化と耕畜連携による化学肥料の低減化を進めている、本取組を西表島と黒島で先行的に行う計画を立てており、これは陸域負荷の低減、すなわち豊かなサンゴ礁の姿を取り戻すことに繋がる。</p> <p>世界でも特に生物多様性の高いサンゴ礁域である石西礁湖を、地域の皆さんと力を合わせて再生していきたい。特に、環境と調和した島嶼型循環農業システムの構築・普及を通し、島民の生活と自然環境の両方が守られる社会の実現を目指したい。</p>
団体	竹富町農林水産課	<p>竹富町では本年5月に「西表島地域循環協議会」を住民の皆さんと共に立ち上げ、本町における「持続可能な島嶼型地域循環社会の構築」に着手する事になりました。具体的な活動として、生ごみ・畜産廃棄物を利用した堆肥作りや、堆肥利用による化学肥料の使用量減など、陸域から海域への環境負荷低減へ取り組みます。</p> <p>また、琉球大学及び関係機関と共同で「環境と調和した世界で最も持続可能な美ら島」プロジェクトを立ち上げ、その一環として石西礁湖への農畜産業からの負荷低減に取り組む事を予定しています。</p> <p>八重山の誇る日本最大規模のサンゴ礁域である石西礁湖は近年、赤土等の陸域からの環境負荷や高水温等による白化、オニヒトデの大量発生、観光による利用圧など、様々な要因でその規模が大きく衰退している現状にあります。</p>

		<p>そのような厳しい状況の石西礁湖の自然再生に向けて、町の農林水産業を所管する農林水産課として貴協議会へ参画させて頂き、各関係機関とも連携し情報共有を図りながら「石西礁湖自然再生全体構想行動計画 2024-2028」の実行・実現に寄与して参りたいとの思いです。今般の新規参加委員の公募にあたり、是非、竹富町農林水産課の新規参加をご承認いただきますようお願い致します。</p>
--	--	--